

2013年8月30日 於 一橋大学

日本教育学会第72回大会公開シンポジウム

労働・ケア・生存 教育の意義を再考する

「労働・職業訓練・実習が人間的成長に果たす意義」原稿

【1】事務局から依頼されたのは(労働との接合関係のなかで教育の意義を再考する)だが、これは本田由紀さんが『教育の職業的意義』に大体まとめていますので、私は逆な立場からご報告したい。

【2】先ず、自己紹介と、職業訓練の現状をマクロに紹介する。

【3】私はここ国立の二つ隣町の小平市に1961(昭和36)年に設立された職業訓練大学校を()1968年に卒業し、()長崎の職業訓練校で2年間中卒者の指導員として勤務した後、母校に戻り、職業訓練に関する業務に一貫して当たって来た。()職業訓練大学校は1975(昭和50)年に小平は短大になり、新たに相模原に新設された。私は職業訓練指導員の養成と研究生生活の大半を相模原のキャンパスで担って来た。

【4】近年の有効求人倍率が70%以下と低迷している下で、公共職業訓練の就職率は80%を超えている成果が見られる。()また、ポリテクカレッジではさらに高く、100%に近い実情である。

【5】しかし、近年の財政難をめぐり、()(<しごと館>)皆様ご記憶の「私のしごと館」は財政削減策のターゲットに掲げられたが、修学旅行の引率の教師は()仕事観の意義をこのように記して下さり、また()仕事観の保存をテーマとしたシンポも開かれ、()中学校の元校長は「廃止は時代に逆行している、残すべきだ」と訴えたが、廃止が決定した。()廃止決定後に、小さな記事で廃止は妥当だったかと自己批判をした新聞もあった。()

()しごと館と同時に第三セクター方式の訓練施設は廃止、または売却された。()期待されて政権交代した民主党は私が卒業した課程を無駄として廃止を決定し、()残りの業務は東京校に移転し、()相模原キャンパスはこの4月から閉鎖されている。()そして雇用・能力開発機

構は()高齢・障害者雇用支援機構に統合され、

【6】今日の職業訓練制度は()国の行政を担う独立行政法人、()都道府県、()及び民間の三者によって営まれている。()各主体は()それぞれ様々な()()()施設を運営している。()特に民活化の流れで近年はプロバイダの訓練や委託が拡大している。

()ところで、公共職業訓練の経費は国民の税金ではなく、**企業主が負担している雇用保険金**であるが、民活化の流れでプロバイダの訓練に流れ、公共職業訓練は縮減されている。()また、独立行政法人の訓練施設は都道府県に移管する方針が出ているが、()全国知事会は国のセンターや大学校をむしろ強化するように提言している。

()最近の政治家が言う職業訓練の強化とはこのプロバイダの訓練であるが、民間の訓練には様々な問題があるが、()例えば、その一例として委託訓練の実態は、()真に望まれている製造系が極めて少なく、パソコンが有れば可能な訓練が多く設定されている。

このように、今日の職業訓練は様々な問題を抱えている。

【7】なお、大会事務局からからは、抽象的な論議で空中戦にならないよう、教育と労働の関係のあり方を具体的な事例に則して報告するように、と要望されているので、()本日の配布資料の3節、4節を中心にご報告したい。

【8】**労働 = 職業能力の習得と人間的成長**

【9】この冊子は()私どもの大学校の初代校長だった成瀬政男が著した論文である。成瀬は技能や技術は生涯学習・生涯教育の中で養われるのだ、と書くことを書いているが、このことは何も研究者が言わずとも、昔から人間の本質として職人さん達が追究して来た。

【10】西岡常一の弟子である小川三夫が設立した斑鳩工舎では徒弟制度方式で仕事をしているが、()「教えない事が一番良い」として若者にしごとをさせている。()しかし何故に、教えずともこのような20世紀最

後の大きな木造建築と言われるお寺が出来たのかというと、()それは弟子達自らの努力に任せて「しごとの中で学ばせる」からだと言える。

【11】徒弟制度に似た方式は、近代産業でも取り入れられ、最初に始めたのはマツダであった。

()これは、退職前のベテラン熟練工が、()個人指導で、中堅工を生産現場から離して特訓しており、一対一の指導であることを意味し、最後には人間の手が欠かせないからである。

【12】皆さんが重宝している携帯電話がポケットに入るように便利になったのは、世界の技術者が無し得なかった()電池ケースの小型化を成功させたのはや小学校しか出ていない**岡野さん**のおかげです。()岡野さんはさらに「痛くない注射針」等を開発したが、このような開発は、様々な労働経験の集大成によって可能になったのである。

【15】このことを労働陶冶と言うが、()旋盤工作家の小関さんが『仕事人が人をつくる』としてまとめた。()小関さんは「人がどんな仕事をやってきたかと言うことと、その人はどんな人かということは切り離せない」と述べている。

【14】このことを学校制度との()関係で見ると()それは教育研究者はこのことを「社会教育」と言い、()経営学や企業の人たちは「企業内教育」といい、()これを「職業訓練」と言っても大体これらの呼び方は同じような事を言っている。

「社会教育」と「企業内教育」と「職業訓練」はいずれも学校修了後の人々の人間的成長・発達を問題にしている事だと言える。 /

【1】労働・職業訓練・実習における人間的成長の事例

では、公開された職業訓練の意義について紹介する。

【2】職業訓練の意義に最初に注目したのは山田洋次監督である。()山田監督は「こん身の力を込めた勉強ぶりは迫力があって圧倒された。『人を好きになる気持ち、人を思いやる心が生まれてくる。』と述べている。

職業訓練校は明治5年の「学制序文」が示したように「学問じよ」であると言える。

【3】そして、工業高校から退校を勧奨された礼次郎君は、()職業訓練校に通うようになって変わったと新聞が紹介しているように、「職業訓練は人を変える」と言える。

【4】先の大震災の避難者が避難先で職業訓練を受けたMさんは()「鳥取定住」も考え「恩返しする」と述べているように、職業訓練は人の生き方を変える、と言える。

【5】2012年度**揺るキャラ**のグランプリを得た、()「バリエさん」をデザインした宮田さんは()職業訓練校にて「天職に巡り会った」と言っている。

以下は、私のホームページに上げている、**職業訓練の実践家**がまとめた職業訓練の意義を紹介しているが、

【6】最初の竹内さんの論文は、()K君は実は中学校で300日も不登校だったが、訓練校で皆勤賞をとるような優秀な若者だったと言うことで、私は()1994年の日本社会教育学会で中学校での**不登校者が訓練校で皆勤賞**として紹介した。

()より大きな問題は、K君が高校進学を希望しても教師は受験の書類作成をしてくれなかった事だ。つまり、学校では「教育を受ける権利」さえ忌避していた。しかし、職業訓練校は「**教育を受ける権利**」を**実質的に保障**していると言える。

【7】不登校者は少子化と言われていながら減少する事はなく、小学校1年生で千人ほど居る不登校者は、家庭や本人の問題かも知れないが、以後、学年進行と共に不登校者が増えるのは学校教育の問題で有ることは確かであろう。中学校3年生の4万人近い不登校者の中には今でもK君のように泣き寝入りしている人がいるのではないだろうか。

【8】つぎの西岡さんの紹介は長野県のある高卒職業訓練生が、()今は「**人生で一番勉強している**と思う。家でも勉強するようになった。」

と感想を書いているという。()その訓練生は、「中学、高校時代は何のための数学なのかというのが分からなかったが、今は利用法が分かるのが面白い。目的が明確なので初めて勉強を楽しいと思えている。」と言っている。()このような訓練生は少なくない、としている。このように、職業訓練が若者の学習意欲を高めていると言える。

【9】村上山さんは()訓練生がものづくりセンスが開眼した要因を紹介してくれているが、()仕事の精度を上げるためにはどうすれば良いか考えなさい、と言って対応をみると、次の日から作業態度から変わり、一つ一つの作業のやり方を自分たちで気づき、実践した、というように、職業訓練は仕事に真剣に取り組ませる、といえる。

【10】山見さんの紹介は、短大の金属成形科のS君が、情報とソフト技術を訓練するため一年留年したという。留年すると就職が不利となるが、()S君は改良・自作した機械のパネルを持って自分で考えていた企業を訪問し説明すると、担当部長は感銘し、()4大卒と同じ待遇で採用されたという。このように、職業訓練は意欲を増大させているといえる。

【11】上田さんは自身の()体験談を寄稿してくれているが、大学を中退し訓練校に入ったが()「自分の興味有ることができ、勉強はおもしろく、楽しかった」()「働いて5年経つが、止めずに頑張っている」そして、()目的が有れば大学でも訓練校も同じだ」と言っている。

職業訓練は職業訓練の意義を認識させる、といえる。

【12】小林さんは5つの事例の短い紹介だが、()余命1年を生きる生き甲斐訓練、()企業と交流しての在職者の訓練、()離転職者が明るくなる職業訓練、()掃除が出来れば仕事出来る、と見学に来ていた企業主が即座に採用した事、()コミュニケーションより仕事力、とあって、面接に失敗していた訓練校生が皆のあこがれの企業に採用された事を紹介している。

【13】中田さんは()中学校を卒業し訓練校で鍛造を学んだ生徒が「地場産業を活かした起業から作家へ」なり、()もちろん地場産業に貢献

し、()近年は、作家として活躍品柄後進の育成にも協力してくれている事を紹介している。

【14】これは各訓練センターでホームページに掲載しているが、()「訓練受講者の声」のなかから、ある指導員から推薦があった感想であるが、()丸山さんは以前従事していた営業とは全く()「異なる営業へ」再就職して頑張っていること

()機械系の訓練を受けた是永さんは、()就職先で、「学ぶことを忘れず、精進」していると生涯学習の精神を体現している、との感想だ。

【15】中村さんは()『企業人スクール』という在職者向けの短期コースを開設し、()企業団体から期待され、()修了者もそれに応え、技術者の早期育成に寄与している事を紹介している。

【16】水谷さんは「職業訓練の方法的長所」について代表的な()ステップ毎に製品を完成させるA B B方式、()雇用可能な技能の単位と個別カリキュラムのモジュール訓練の利点を述べ、()ものづくりによる人間的な成長にとって有効だと言うことを述べている。

【17】平川さんは障がい者の訓練と研究に携わって来た人だが、()「ベテラン指導員から学んだ職業訓練」について紹介している。障害者訓練は健常者の訓練に取っても有効な方法となり、()職業訓練の本質に関わる内容を確認出来ると指摘している。

【18】そしてこのグラフは、()職業能力開発大学校に入学した新入生約250人と、約30人のある短大の指導員に対する職業訓練と教育のどちらが大きな概念かを聞いたアンケート結果だが、()新入生のこの「知らない」という部分を除くと、短大の指導員と大体同じである。この割合は大体どのようなグループでも「職業訓練は教育に含まれる」とするのが6割以上を示し、同じ傾向を示す。()ところが、当時、短大から編入生が約30名来ていたが、その意識は逆転している。つまり、2年間の職業訓練短大での生活が意識を逆転させている。職業訓練は**教育観を逆転させる**と言える。

[19] 以上のように職業訓練は意義ある営みであるが、() **新規学校卒業**者へは「社会への入門演習」として、() **在職労働者**には「技術変化への対応」として、() **離転職者・失業者**には、「再チャレンジ」として、() **障がい者**には「社会の一員になる」意義を持っている、と言える。() また、ある学生が私に出したレポートに「日本にニートは居ない」と書いて来たが、ニートの「T」は Training の T だが、日本の職業訓練受講者は極めて少ない上に、受講者の就職率は高いので、ニートはいない、という論旨であった。() これを別な角度から考えると、職業訓練の意義を一言で言えば、国民の義務として唯一の義務と言える納税の義務を果たす納税者を育成している、といえる。 /

[1] 補足 **「教育」の誤解の根拠**

以上のように、職業訓練、特に実習が人間的成長に果たす意義がある。しかし、このような職業訓練が、わが国では低く見られ、あるいは無視されているのは何故か、と考えると、

() その最大の要因は、「教育」への誤解が有るからである。会場には教育学に詳しくない一般のご参加者もおられるので、"Education"の概念の発達、"Education"は「教育」ではないこと、「教育を受ける権利」の非権利性について「空中戦」にならないよう具体的事実を基に簡単にご紹介したい。

[2] この図は佐々木輝雄が示したイギリスの庶民の学校が成立する過程の概要図である。イギリスの庶民の学校の"Education"法は、徒弟法、救貧法、工場法が発展して成立している。() 一言で言うと働く若者の学習制度が発達して成立した、と言える。

() 例えば信長に謁見した**フロイス**は帰国して 1585 年に、ヨーロッパでは子どもをムチで打って育てていると記した。() それから数十年後に、**ガリレオ**は「人にもものを教えることはできない。みずから気づく手助けができるだけだ。」と述べ、新たな発想が生まれている。() そして、

ウェブスター辞書は 1852 年に"Education"の概念として"**Development**"で説明し、() 10 年後には能力として職業概念を加えている。そのような流れの中で、() **ルソー**が『エミール』において徒弟になることは「徒弟の養成ではなく、人間の形成なのだ」と主張し、() **エンゲルス**が「猿が人間になるさいの労働の役割」を著して労働の役割を認めた。

[3] この図に() わが国の教育と労働との関係を上書きしますと...、() 学校の成立はわずかに 11 年の遅れしかないが、() 労働者を守る「工場法」の成立には 110 年の差があり、さらに() 「工場法」が改正された「労働基準法」では徒弟制を忌避するように規定された。

このような歴史の差により、教育観と"Education"観の逆転が生じたことが明らかだ。文化は歴史が創るといわれるが、職業訓練軽視観は日本の近代化の歴史が創ったといえる。

[4] このことは今日のポケット版の辞典でも() "educate"は() "to development"であり、"Education"は"developing"で説明されていることに続いている。

[5] ところで教育は() 孟子が 2 千年前に創った言葉で、() 強大な国を造るために王が家来を教育する、と言う意味であった。() 従って、中国では「教育」は使われていなかった。

[6] 例えば、明治 6 年に"**Education in Japan**"がアメリカで発行されたが、() これは後の初代文部大臣になる当時アメリカの公使をしていた**森有礼**がアメリカの"Education"に高名な人の論をまとめた書である。

() ところで、中国は日清戦争で日本に敗れた次の年に『**文学興国策**』を翻訳刊行している。() その序文には() 「米国の著名人達は文学を振興します」として、これは() 「日本の前任駐米公使**森君**」が記した本を翻訳した、としているように、() "Education"を「文学」として刊行したように、**中国では"Education"は「文学」**だった。

() 中国が「教育」を使用するようになったのは、王智新の研究によると、欧米の原本を日本が訳していた訳本を日新戦争後に大量に輸入して

研究した際に、「教育」も同時に移入されたと言う。

[7] わが国では、寺子屋を描いた花里一寸子の解説にあるように、() 寺子屋では教育ではなく文学が行われていたことと共通する。

[8] さて、「教育」の英語としては"Education"だと中学校で教えられるが、その訳は最初からではない。() チャンバーの"Education"を文部省は当初「教導」と訳していた。() それを「教育」に転換したのが**明治 11 年**である。これは() 「学制」を廃止して「教育令」を制定する前年である。() 決定的なのは明治 40 年に「教育勅語官定英訳」を制定し、ここで"Education"を使用したことだ。

[9] ところで、「日本国憲法」はアメリカに押しつけられたという人も居るが、マッカーサー草案には"compulsory education"を整備すべきだ、しかない。政府は最初これを「強制教育」と訳したが、さすがにこれはおかしいとして「義務教育」と意識した。つまり、「**教育を受ける権利**」は日本人が規定したのだ。

[10] しかし、憲法にも教育関係法にも「教育」の定義が記されていない。そのため、() 国民の理解としては国語事典の定義であろう。() 例えば『広辞苑』は 40 年近くの長きにわたり「人間に他から意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ、価値を実現する活動。」とした。これは正に、王が家来を教育する定義と大同小異といえる。() このため、永六輔は『『教育』は良くない』、「教育に変わる言葉を創るべきだ」と言っている。() これを憲法の「教育を受ける権利」に入れると、全く意味不明な文になることが分かる。() この政府の公式英訳は"receive"で著されている。

[11] ところが「世界人権宣言」では"to"であり「受ける」ではない。() また、「子どもの権利条約」でも、**子どもであっても「受ける」ではない**。() 国連で演説したマララさんは「教育を受ける権利」を主張したとマスコミは報じたが、マララさんは"the right to be educated"と言ったのだ。() 大事なことは、「世界人権宣言」では"Education"権の前に労働権が

規定されており、つまり「"Education"は労働のための重要な人権である」ことを意味し、わが国の「憲法」とは逆転していることだ。() そして、労働権の最後の「失業に対する権利」には職業訓練権が入る事を意味している。

[12] また、ドイツの理解を観ると、() ドイツのニュルンベルグ市には「人権通り」があり、各国の人権に関する標語が彫られている。() 日本の柱には「教育を受ける権利」が記されているが、() その独訳には受けるの"becommen"は記されず何故か"recht auf bildung"である。"auf"は英語では"to"や"on"であり、このドイツ語は「世界人権宣言」の独訳なのである。

このように、「教育を受ける権利」はドイツで認められなかった。

[13] この日本人に信頼されてきた「教育を受ける権利」の問題を考えるためには、給食と対比することで明確になる。

() 教育は政府が準備し国民・生徒が受けるものである。() 同様に給食も学校が準備し生徒が食べる。() 給食は貧しい時は助かる。() 同様に教育も貧しい時は助かる。

() しかし、人権が無かった時にも「受けることは権利」と主張することは出来る。() 明治 37 年に幸徳秋水は「吾々は教育を受けるの権利がある」と主張したし、() 大正 9 年に下中弥三郎は「教育を受けることは権利である」と主張した。

() しかし、裕福となった、しかも国民主権となった今日、果たして「教育を受ける権利」は民主的だと言えるのか？

() それはメニュー方式で準備され、() カフェテリア方式が望ましいだろう。

([カフェテリア]) 例えば、フィンランドの学校ではレストランが有り、そこで生徒達は() 好きなだけ盛ることが出来るが、() 残飯が出ない、という。() 私も昨年訪問しましたが、小さな子ども達もカフェテリア方式で食べていた。()

()つまり、求食として求めて食べるのが権利である。()同様に準備された教材を関心によって()選んで学ぶことが権利である。()つまり、国民の権利としては自分が求めることを可能にすることである。

[14] では「教育を受ける権利」とはどのような意味があるのか。()憲法改正案を出している自由民主党は「教育を受ける権利」については訂正をしていない。()このことは憲法審議の段階からつながっており、「国体護持」を訴えて当選した廿日出議員のみがただ一人「これは民主的な考えを盛っている」と賛同した。()しかし、佐々木惣一議員はただ一人「教育を受けることは権利になるのか」と質問したが、政府は答えず、憲法に規定された。

()今日の国民主権の下で、「教育を受ける権利」を守ることは何か。私の意見であるが、()ホトトギスに托卵されるウグイスのように、「托教育」させられ、つまり教育を守られ、教育に裏切られているのではないだろうか？

[15] 以上で、職業訓練の意義と教育の問題についての報告を終える。

ご批判を宜しくお願いしたい。 /

討論補足

[2] エルゴナジーの考え方であるが、本報告では労働権と教育権ではなく、学習権との関係であるが、()まず生存権のために労働権が有ると考えます。()その労働権には、就労権と、仕事をするためには誰でも、()どこかで職業訓練を受けなければならないのでその権利、()それらを保障するための学習権があると言える。()この学習権と職業訓練権をまとめて()エルゴナジーと考えている。

[3] このエルゴナジーのカリキュラム構想は、この図のように社会に出る前は、ほとんどが職業に関連する内容で有るべきだ。そして、学習の初期には、「普通教育」という分からない内容ではなく、基礎的、共通的内容にすべきである。

[4] 例えば、昨年現地で得たフィンランドの学校制度は、()このように先ず日本の小学校と中学校を統合した基礎学校で始まり、その第10年目は日本では考えられない補充学年が有るが、ここまでは義務教育である。その上の高校段階、大学段階では、相互に横方向の編入体制が明記されている。特に注目されるのは、日本の普通高校に相当する学校修了後に職業高校への入学の矢印が有るが、逆は無い、とすることだ。

そして「職業経験」者が()職業資格を取って上の段階の学校への編入が可能ようになっており、正に学校制度と職業訓練が一体的になっている。

()その社会人のためのオムニア成人訓練センターは、素晴らしいの言葉につきる設備も内容も充実したセンターであった。

このように、職業能力の開発が保障された制度が整備されている。

[5] 例えば学校間の編入制度の例を数年前のオーストリアの学年別在籍率で観ると、このグラフのように、学年進行と共に大きく各学年の在籍率が変化している。最初は少なかったデュアルシステムのコースは、高卒段階では最も多くの生徒が在籍している。そして、日本の普通高校に相当する一般学校は、在籍率も低だけでなく、学年進行と共に減少していることが分かる。ちなみに、ヨーロッパの多くの国では学費は無料である。

つまり、彼の地では、就職が可能なコースが人気が高い、ということを示している。そのような学校制度を整備するのが国の責任だ、ということになる。